

1月14日岩見沢地区で猛吹雪 15日第1回臨時議会雪対策補正

ススキノ時短再要請

知事「今が分水嶺」

対策1カ月延長決定

鈴木直道知事は14日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、15日までとしていた集中対策期間を2月15日まで延長し、札幌市の繁華街・ススキノ地区では、現在実施中の接待を伴う飲食店に加え、それ以外の飲食店についても午後10時から午前5時まで営業を控えるよう再要請することを正式決定した。全国で緊急事態宣言の対象地域が拡大する中、対象指定を回避するために対策を強化した形だ。(2面)国と足並み、28面「店閉めるは」

道の新型コロナウイルス対策の要請内容(1/16~2/15) ※が新規

地域	要請内容
全道	同居していない人との飲食はできる限り控える
道民	緊急事態宣言の対象地域との不要不急の往来自粛
札幌市内	札幌と他地域との不要不急の往来自粛
札幌ススキノ地区	不要不急の外出自粛
飲食店	飲食店などに午後10時~午前5時の営業自粛
札幌市全域	接待を伴う飲食店に午後10時~午前5時の営業自粛

「ススキノの接待を伴わない事態になる恐れもある」と述べて、集中対策期間の1カ月延長に理解を求めた。

岩見沢除排雪 4.5億円追加へ

総額18億円 2番目の規模

【岩見沢】昨年12月以降の大雪で、市道の排雪費用が膨らむ中、市は15日の臨時市議会でも除排雪費の追加補正を行う。追加分は4億5200万円、当初予算と合わせた除排雪費の総額は18億1200万円。記録的な大雪となった2011~12年にかけての冬の約20億円に次ぐ過去2番目の規模になる。

【岩見沢】昨年12月以降の大雪で、各地で渋滞が相次ぎ、市は、雪堆積場までの運搬ルートや道幅が狭いバス路線を中心に排雪を実施。排雪延長は12月30日時点で73キロ、今月10日には109キロと早くも見込みを上回り、当初予算だけでは足りず、現在は予備費を充てて対応している。

【長沼】町と町商工会がプレミアム率60%の商品券を販売した際、購入上限を一時撤廃し1人当たり100万円を超える大量販売を行い、購入希望者に行き渡らなかつた問題で、町議会は14日、全員協議会を開き、

「商工会が」

長沼商品券問題 町

「状況次第で宣言追加」

西村氏 旭川クラスター「悪い例」

西村康隆経済再生担当相は14日の参院内閣委員会で、新型コロナウイルス感染症に「旭川クラスター」を「悪い例」として挙げ、全国一律の宣言に關しては改めて否定的な姿勢を示した。

立憲民主党の杉尾秀哉氏への答弁。西村氏は区域追加について「地域の感染状況、医療の逼迫状況、保健所などの公衆衛生の状況を把握して判断する」と説明

が感染拡大の一因になっていると指摘し「飲食の場面に最大限の警戒感を持ち重点的に取り組む」と強調した。札幌市内の接待を伴う飲食店への時短要請を継続するほか、振興局ごとに繁華街の飲食店を対象とした感染防止に関する勉強会を開くなど全道で対策を強化する考えを示した。

シが現在の「4相当」から「3相当」まで新規感染者や入院患者などが減少した場合、現行の措置を緩和する意向も表明した。

4億5千万円を追加

除排雪事業補正予算

【岩見沢】市は、今冬の除排雪事業に4億5200万円を追加する補正予算案を市議会に上程。15日の臨時市議会でも可決成立した。これは本年度の一般会計予算は622億6667万円になった。

【岩見沢】市の、今冬の除排雪事業に4億5200万円を追加する補正予算案を市議会に上程。15日の臨時市議会でも可決成立した。これは本年度の一般会計予算は622億6667万円になった。

【岩見沢】市の、今冬の除排雪事業に4億5200万円を追加する補正予算案を市議会に上程。15日の臨時市議会でも可決成立した。これは本年度の一般会計予算は622億6667万円になった。

アーケード守れ 一斉に雪下ろし



各商店の関係者が一斉に行ったアーケードの雪下ろし

岩見沢の中心商店街

【岩見沢】記録的な大雪に見舞われた市の中心商店街で14日、各商店がアーケードに積もった雪を下ろす作業を一斉に行った。アーケードの雪下ろしは毎冬、岩見沢商工会議所の取りまとめで実施。1条通り、2条通り、4条通り、中央通りの各商店街で、商店の関係者がアーケードに上って作業を担当する。落とした雪は重機で道路脇に寄せ、車通りが少ない深夜に排雪する。アーケードは道路両脇にあり、片側ずつ2日に分けて行う。

今冬は1・5以上の積雪があり、初日は約1000人が汗を流しながらスコップ